

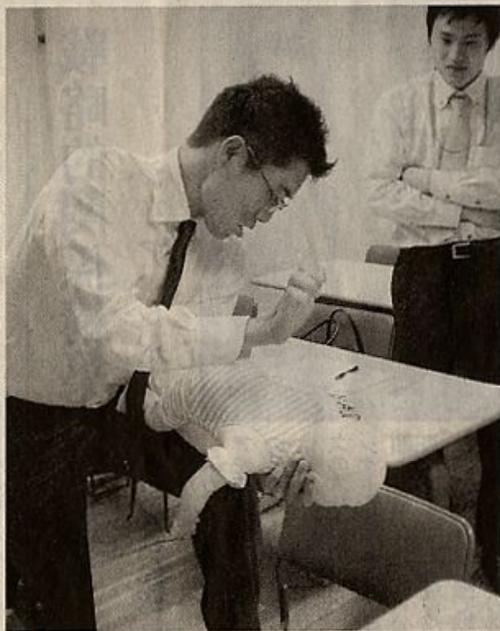
育児の楽しさ パパも知って

09.12.21

東京で養成学校スタート

婚活の切り札にも?

家事や育児よりも仕事を優先する男性はまだ多い。男性も育児に積極的に参加して楽しむことを学んでもらおうと、これから父親になる人を主な対象にした、パパの養成学校「ファザリング・スクール」が東京で始まった。



人形を使って誤飲の対処を実習する受講者。11月、東京都中央区

▽仕事帰り

今秋のある平日の夕方、東京都中央区の公

共施設に仕事帰りの男性十数人が集まった。ほとんどはスーツ姿。「育児についてあらためて考えたい」という、既小学生の子どもの父ができた時に、相談できる関係を持たたい」と動機を話す独身男性もいる。

方、東京都中央区の公

共施設に仕事帰りの男性十数人が集まった。ほとんどはスーツ姿。「育児についてあらためて考えたい」という、既小学生の子どもの父ができた時に、相談できる関係を持たたい」と動機を話す独身男性もいる。

言いつた。深夜まで仕事を

する毎日だが、週に1

度の講座のために仕事

をやりにくり。平日から

子どもにかかわれるよ

うな意識を社内に浸透

させたい」と育児休業

を取得するつもりだ。

だが厚生労働省が三

菱UFDリサーチ&コ

ンサルティンクに委託

して実施したアンケート

では、小学校入学以

前の子を持つ男性正社

員の約58%が「仕事と

家事・育児を両立させ

たい」と考えているも

の、実際には74%が

仕事を優先。男性の育

児参加はまだまだなの

が実情だ。

恵泉女学園大学院

の大日向雅美教授(発

達心理学)は「女性中心

に考えられてきた育児

の世界で、父親が主体

性を持った新しい取り

組み。同じ意識を持つ

男性は参加しやすくな

り、効果が期待できる。

一方で育児参加したくて

もできない男性も依然

多く、自律的に参加で

きるようにすることが

課題」と話している。

気の予防法や法律知識は「切り札」になる」などと、内容は盛りだくさんだ。

▽仕事を工夫

この日のテーマは

来年2月にパパになる受講者、東京都の会

「ママの心をつかむパ

ートナーシップ」。

講師が「妻に『何か手伝

は、家族が増える前に、自分に何が出来るかを

おつか」というのは、

真剣に考える機会にな

当事者ではないよつな

真剣に考える機会にな